

**大日本印刷、国立情報学研究所、学会向け情報支援システムを開発
来場者が参加する投稿サイトや人感センサーによる人気度表示で学会を演出**

大日本印刷株式会社(東京 社長:北島義俊(きたじま よしとし) 資本金:1,144 億円 以下:DNP)、国立情報学研究所(東京 所長:坂内正夫(さかうち まさお) 以下:NII)は、参加者が学会会場で収集した情報を管理し、コミュニティ型 Web サイトで他の参加者とのコミュニケーションに活用するシステムを開発しました。

本システムは、6月18日から宮崎県で開催される第21回人工知能学会全国大会で利用されます。

【背景と概要】

学会参加者は、関心や興味のある発表を聴講したり、展示物を見学したりするだけでなく、他の参加者とのコミュニケーションを求めています。このニーズに応じて、DNP、NIIは、独立行政法人産業技術総合研究所(理事長:吉川弘之 以下:AIST)と共同で、各社が提供するシステムを、シームレスに利用できるように連携させ、学会向けの情報支援システムを開発しました。本システムを利用すれば、学会参加者は、会場で気になる情報を携帯電話でクリッピング(*)し、行動履歴を残すことによって、あとからそれらの情報を振り返ることができるだけでなく、コミュニティ型 Web サイトで、他の参加者と意見交換を行い、自身の関心・興味に近い研究者を探すことが可能となります。

(*)クリッピング:新聞や雑誌の記事を切り抜いて整理すること。

【第21回人工知能学会全国大会での導入事例】

学会参加者は、事前に登録することで、参加者に紐付けされたICカードが発行されるとともに、携帯電話の情報クリッピングシステムや、個別のスケジュール、メモなどの情報を入力出来る個人ページが利用出来ます。

学会会場では、情報クリッピング機能を使い、手軽に会場内の情報を収集できるほか、ICカードを、会場内の展示場所や発表会場への入り口に設置されたリーダーライターにかざすことによって、行動履歴を残すことができます。また、会場内のパソコンにICカードでログインすると、カード保有者のクリッピング情報や行動履歴、投稿サイト、人気の高い会場が閲覧できます。投稿サイト、人気の高い会場は、会場内の大型ディスプレイにも表示されます。

学会後は、パソコンから、個人ページのクリッピング情報、行動履歴などを閲覧・編集し、それらの情報をコミュニティ型 Web サイトで引き続き公開し、他の参加者と意見交換に活用できます。

【各システムの紹介】

1. 情報クリッピングシステム「Information Clip」(開発:DNP)

会場で気になった展示物・発表の画像とコメントを、携帯電話の専用ソフトを起動して、サーバーの個人フォルダに書き込み、保存します。保存した情報は、携帯電話またはパソコンから閲覧・編集が可能だけでなく、投稿サイトに公開できます。また、画像に文字が含まれる場合、文字を、テキストデータに自動的に変換することが可能です。

2. 人感センサーを利用した人気スポット表示システム「ボルテージビューアー」(開発:DNP)

会場の主要な場所に人感センサーを設置し、人感センサーの前を通過する人数をサーバーへ送信します。それぞれの場所の混雑状況が、会場内のディスプレイや Web サイトで、リアルタイムで確認できます。

3. 行動履歴に基づく情報共有システム「ActionLog(アクションログ)」(開発:NII)

会場内の各所で IC カードをかざすことによって残す行動履歴や、Web サイトの個人ページに登録したスケジュールなどの情報から、自動で作成されたメモを、編集し公開することができます。発表案件ごとの参加者全員の公開メモを閲覧できるため、参加者間の意見交換に利用できます。

4. 聴講時の質問メモシステム「memoQ(メモキュー)」(開発:NII)

発表聴講時に、パソコンから、Web サイトの個人ページにメモを書くことができます。メモは基本的に非公開ですが、メモの中に“?”をつけると、そのメモは質問とみなされ、他の聴講者に公開されます。他の聴講者は、公開された質問に対し、聞きたい度合いを投票します。投票結果に従って整理された質問を、発表後の質疑応答に利用できます。

5. 発表残り時間通知システム「ベル鈴」(開発:NII)

発表者が、発表会場のリーダーライターに IC カードを置くと、発表開始の合図となります。発表会場で、発表終了予定時刻の 5 分前に予鈴を鳴らすほか、会場の外で、発表の経過時間をディスプレイなどに表示することができます。

6. 「Polyphonet(ポリフォネット)」(開発:AIST)

インターネット上の研究者の情報を収集し、研究テーマや関連キーワードを抽出します。研究者のつながりを視覚的に表示したり、研究者間のつながりを検索したりできます。本システムの一部は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託「人の社会的関係を考慮した情報提供に関する研究」により研究開発したものです。

7. 会場支援基盤「カジュアル支援」(開発:AIST)

Polyphonet やサーバーの個人フォルダには、メールアドレスとパスワードでログインする方式が基本ですが、会場内で気軽にこれらの情報にアクセスできるよう、ICカードをかざすだけでログインするインターフェースや IC カードを提供します。また、2 枚のカードをリーダーライターにタッチすると、そのカード保有者をつなぐパスを、サーバーに記録します。本システムは、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託「人の社会的関係を考慮した情報提供に関する研究」により研究開発したものです。

【今後の取り組み】

DNP、NII は、今後も、AIST とともに、学会などのイベント空間を対象とする、コミュニティを形成・活性化するサービスの研究開発を進めていきます。

※当システムの詳細を、AIST のサイト <http://jsai2007.polypho.net/>で案内しています

—以 上—

報道に関するお問い合わせ

大日本印刷株式会社
広報室 久保田
TEL : 03-5225-8220
E-mail : info@mail.dnp.co.jp

国立情報学研究所
広報普及チーム 小野、早川
TEL : 03-4212-2135
E-mail : kouhou@nii.ac.jp